

第 142 回 インドの植民地化

1 イギリスのインド支配の確立

- ・インドでは、1526 年に建国された（ ）が続いていたが、18 世紀に入ると衰退が激しくなっていた。
- ・ポルトガル・イギリス・フランスなどヨーロッパ勢力の進出も進んだ。



インドに直接来た最初のヨーロッパ人か。

- ・1757 年、イギリスは東インド会社の書記（ ）の活躍により、フランスとベンガル太守を（ ）で破った。
→（ ）の（ ）を奪った。
→1767 年、北東のビハール州も支配下に置いた。
- ・また 1744 年以降、3 度にわたる（ ）にも勝利し、南インドでもイギリスがフランスを圧倒した。



亀をペットとして飼っていた。初代ベンガル知事となった。

- ・南インドのマイソール王国を 4 度の（ ）で破った。
- ・デカン地方のマラーター同盟を 3 度の（ ）で破った。
- ・北西インド、パンジャブ地方のシク王国を 2 度の（ ）で破った。
→イギリスは、19 世紀半ばまでにインドのほぼ全土を支配するようになった。
- ・またグルカ戦争でグルカ人を破り、ネパールも征服した。

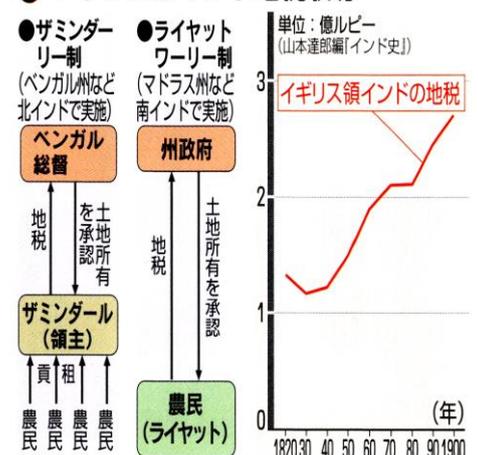
2 イギリスによるインド支配

- ・1813 年、東インド会社はインドにおける（ ）させられた。
→1833 年、東インド会社の商業活動停止が決められ、インドの統治機関となった。

- ・イギリスは、土地の所有者に税金を集めさせる（ ）や、農民から直接税金を徴収する（ ）などを実施した。
→地税はイギリスのインド支配の最大の収入源であり、重い負担は民衆を苦しめた。
→土地所有をめぐる現地の事情や習慣は無視されて、困窮する民衆も多かった。

- ・イギリスは畑をつぶして（ ）・（ ）・藍・麻などのプランテーション栽培を強制し、これらを輸出して莫大な富を獲得した。
→逆にインドでは食料不足となり、多くの餓死者が出た。

B イギリスのインド地税収奪



- ・イギリスで（ ）が本格化すると、安い機械製の（ ）がインドに輸入されて伝統的な綿織物工業は大打撃を受け、インド社会は破壊された。

3 インド帝国の成立

・1857年、イギリスの支配に対し、（ ）と呼ばれるインド人傭兵が無力なムガル皇帝をかついで反乱を起し、（ ）城を占拠した。
→没落した旧支配層の不満を吸収して、（ ）となった。

- ・1858年、イギリスはこの大反乱を鎮圧すると、ムガル帝国も滅ぼした。
→インドの統治機関である（ ）させ、直接支配に乗り出した。



シパーヒーの反乱

シパーヒーの反乱のきっかけは、支給された銃の火薬の包み紙であった。インドにおける宗教を、しっかり理解しておこう。食べてはいけない動物何だっけ？



ラクシュミー=パーイー(映画)

「インドのジャンヌ=ダルク」と言われ、反乱の指導者として活躍したが、23歳で戦死した。インドの民族的英雄である。



パハドウル=シャー2世

バールにはじまるムガル帝国も、ついに滅んでしまった。彼は殺されずに、ミャンマーへ追放された。



ヴィクトリア女王
インド皇帝となったが、一度もインドには来なかった。

- ☆（ ）(イギリス領インド) (1877~1947年)
- ◆（ ）(イギリス王と兼任) (皇帝在位 1877~1901年)
- ・1877年、イギリス首相（ ）は、ヴィクトリア女王をインド皇帝とし、インド帝国を成立させた。
→インド政庁が支配する直轄地と、半独立の（ ）に分ける分割統治が行われ、イギリス本国のインド省が統括した。

<インド人の反抗>

- ・イギリスは鉄道や電信を整備するとともに、英語で教育を行う大学を設立した。
- ・1885年、イギリスはインド人のエリートを利用して植民地支配への不満をそらすため、（ ）をボンベイで結成させた。
→国民会議に参加した人は、最初は穏健であったが、徐々に反抗的になっていった。
- ・1905年、インド総督カーズンは、（ ）(カーズン法)を出してベンガル地方を分割し、イギリスに対する抵抗運動の分断を狙った(分割統治)。
→1906年、国民会議の（ ）は（ ）を採択した。
※（ ）・（ ）・（ ）・（ ）
- ・1906年、イギリスはイスラーム教徒に（ ）を結成させた。
- ・1911年、イギリスはベンガル分割令を撤廃し、カルカッタからデリーへ遷都した。



ラーム=モーハン=ローイ

イギリス統治下で、社会改革運動を行った。特に夫を失った女性の殉死であるサティーの禁止は、彼の功績である。サティーは現在でもたまにニュースになる。



インド総督カーズン

イギリスの政治家で、1899~1905年の間にインド総督を務めた。外相時代に、ポーランドとロシア革命政権との国境線、いわゆるカーズン線を定めた。



ティラク

インド独立運動の指導者。国民会議派のリーダーで、反英運動を行った。マハトマ=ガンディーの先駆者ともいえる人物である。